

科 目 名
-------

<b>教 職 演 習</b> <b>Teacher-Training Exercises</b>
---

3年 前期 2単位

和田 英 武

## 概 要

激変する21世紀社会の中で、教育においても「21世紀を生きる人材を育てる」という新しい時代の教育の在り方が求められている。具体的には、知育、徳育、体育といった従来の教育の外に、変化する現代社会の諸問題に、より良く対処できる能力すなわち「生きる力」の育成が求められている。当然その指導にあたる教師自身がそれらの資質・能力を身に付けていなければならない。

## 目 標

本講座は、地球規模での課題（人種問題、環境問題、異文化理解等）と日本社会における課題（いじめ・不登校、少子高齢化、家庭教育、福祉問題等）から幾つかの課題を選び、それについて、現状把握→分析→検討→整理→発表の作業を通して、個々の課題について深く理解させ視野を広げるとともに、個々の課題に関わる内容を適切に指導する実践的指導力を身に付けさせることを目的とする。

併せて教員としての資質向上をも図る。

## 授業計画

回	授 業 内 容	備 考
1	オリエンテーション	
2	テーマ選び、班分け	
3	調査、レポート作成、中間報告	
4	調査、レポート作成、中間報告	
5	レポート提出、学習指導案の作り方	
6	模擬授業	
7	模擬授業	
8	模擬授業	
9	壁新聞作り（全体計画）	班討議
10	壁新聞作り	
11	壁新聞作り	
12	壁新聞の相互評価、討論（ディベート、パネルディスカッション、バズセッション）	VT 鑑賞
13	討論（ディベート、パネルディスカッション、バズセッション）	
14	討論（ディベート、パネルディスカッション、バズセッション）	

## 授業方法

- (1) 全体指導、個人研究、グループ研究、必要に応じて見学及び現地調査
- (2) グループ討議、全体討議、中間発表を適時
- (3) 学習指導案作成及び模擬授業
- (4) 研究報告書作成

## 学習到達度の評価

- (1) 各段階で全員の参加を促す（各人に作業を分担させる）
- (2) 適宜グループ討議を実施し、作業の進捗を促し、指導を充実させる。
- (3) 毎回個人レポートを提出させ、学習到達度の確認と深化を図る。

## 評価方法

参加状況及び演習態度、発表、レポート等により総合的に評価する。